



長い夏休みが終わり、涼しい季節になってきました。
子どもたちは、猛暑にも負けずに元気いっぱい、
おなかいっぱい食べて、思いっきり遊んだ夏でした！
みなさまに、子どもたちの「声」をお届けします。

☆ つうしん

10号



あそぶ：CPAO 毎年恒例サマーツアー！



今年で6回目となったサマーツアー。7月30日～8月4日、人数も増え、にぎやかに楽しく過ごすことができました。支援者の方のご厚意で古民家をお借りして、そこを基地に、和歌山県の新宮市や三重県の熊野市という大自然の中で、川・山・海と今回も、思いっきり遊ぶことができました。

「うーん、どうやるんだっけ??」 8月1日 朝ごはんは子どもたちがサンドイッチを作ってくれました。初参加の子に、長年参加している子が教えているのかと思いきや、「うーん、どうやるんだっけ??」と言っています。考えてみると、その子は4歳から関わり、今は小学2年生となりましたが、ずっと年上の子たちが中心でやってくれていたことがわかります。CPAOの活動も今年、7年目を迎え、子どもたちも成長し、中学生や高校、大学生になりと、忙しくなっている子たちが多く、メンバーが入れ

替わっていることをしみじみ思いました。この日は、新宮市の毎回貸し切りで遊んでいる川で川遊び。「おれは、川には入らん」とずっと言っていた子も、みな「たのしいー！」と口々に言っているのを見て、いつの間にか一緒になり、遊んでいました。川遊びのあとは、日本一大きい露天風呂と言われている温泉へ。子どもたちは長湯し、予定より古民家に戻るのが遅くなりましたが、帰り道にきれいな夕陽を見れて喜んでいました。戻ってからもすぐに「トランプしよう！」と疲れ知らず。夜ごはんは、畑で収穫したものや、いただいた夏野菜を使った天ぷらうどん。子どもたちは「おいしい！」と一瞬でなくなってしまいました。

「たのしいー!!」「おいしいねー!!」 8月3日 最終日のこの日、新たにみつけた場所で海水浴をしました。浮き輪やボートに乗りながら、波が来るたび揺られ、そのたび、子どもたちは「たのしいー!!」と笑顔で言い合っていました。この日、帰るチームは14時ごろに名残惜しそうに帰っていき、残った子どもたちは釣りをしたいと夕方までやっていました。初参加で初つりをした子も採れ、大満足そうな様子でした。魚は小さく本当に少しでしたが、味はよく、みなで「おいしいねー!!」と味わっていただきました。実は、残ったチームは、この日の夜、夏祭りがあるということで、急きょ、「見たい!!」ということで、あと1泊することになりました。大迫力の太鼓の演奏や花火などにこれまた大満足して、古民家に戻りました。今回も大きなけがもなく、無事、楽しく戻ってくることができました。子どもたちの声を大切に「やりたい!」を叶えられるのも、たくさんの方のサポートのおかげです。いつもご支援・ご協力くださりありがとうございます。



たべる：いくの子ども食堂(毎週火曜日)

〈ボランティア募集!〉現在、毎週火曜日の13時半から16時の間、子ども食堂で一緒にご飯を作ってくれるボランティアの方を募集しております。ご興味のある方は、info@cpao0524.org までご連絡ください。



「ぱっかーん!」 8月13日 お盆休み真ただ中。家で一人きり、過ごす子どもたちもいます。今回も食堂が始まるとすぐに扉を開けて入ってきました。宿題をしたり、折り紙をしたり、ダンスをしたり、それぞれ時間を過ごしています。いくの子ども食堂で出会い、すっかり仲良くなった子たちが楽しそうに遊んだり話したりしていました。ごはんは少しでも夏の疲れが取れるようにと、梅干しを入れてた炊いた黒豆入り梅ごはん。子どもたちは少し見慣れないごはんでしたが、たくさん食べていました。大きなスイカもご寄付いただき、子どもたちの「ぱっかーん!」の声かけで切りました。とても甘くて美味しいスイカでした。

「食べきれない」「がんばれ、大丈夫や」 8月27日 大阪市では2学期が月曜から始まりました。雨の中来てくれた子どもたち。久しぶりの学校、さらにプールの授業もあったりで少し疲れた様子の子たちもいましたが、いつものように宿題をしたり、友だち同士遊んだりしていました。夏休み中会えていなかったのどんな様子なのかと心配していましたが、元気に夏休みの思い出など話してくれて、安心しました。今日は山盛りの焼きそばと揚げ餃子。子どもたちは何度もおかわりして食べていました。お皿にたくさん入れすぎて「食べきれない」と泣いている子がいましたが、3年生の男の子が「がんばれ、大丈夫や」と声をかけていたり、おとなにお茶をいれて運んでいたり、子どもたちの優しさは自然と出てくるものなのだなと、あらためて感じられた日でした。



まなぶ：しゅくだいカフェ(毎週水曜日)

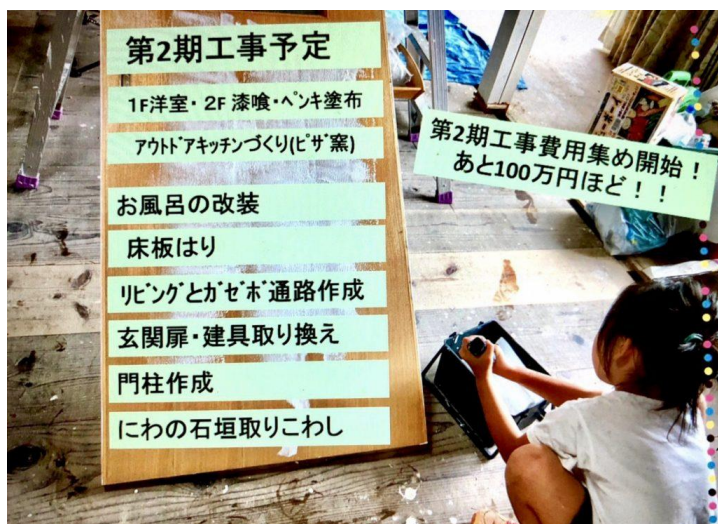
「めっちゃわかりやすい、また教えて」 7月17日 元気よく入ってきた子どもたちの中には、はじめての子も多く、いつも来ている子と一緒に準備をしていました。最初に、みんな自分のお菓子を選びますが、今回が初めての子はお菓子選びも楽しい様子。どれにしようか迷いながらも、とっていきます。みんなで食べている時も「あ、みてみて! あたりだ!」とお菓子のチョコレートがハート形になっているのを見せに来てくれて、お菓子タイムはみんなたのしそうです。お菓子をたべたら、それぞれ自分でやることを決めて進めていきます。3年生のある女の子は算数の計算問題を解いていましたが、むずしく手が止まっていました。「どうしたの?」と聞いたところ「この問題の解き方が分からない」と言ってきたので、図にして解説したところ、「めっちゃわかりやすい、また教えて」とうれしい一言を言ってくれ、そのあともスタッフが教えたやり方でどんどん進めていっていました。最後に今回特別に仕込んでおいた、バナナのアイスをみんなで食べました。みんな口々に「おいしい!」と言って何度もおかわりをしていました。



つくる：ご支援のお願い はしもとベース第2期工事

たくさんの方のおかげではしもとベース第1期工事が終了いたしました。さらに過ごしやすくするために、はしもとランチ第2期工事のための資金を募りたいと思います。

「いつでも親子が駆け込める場づくり」は活動当初からの悲願です。親丸ごと「子育てをサポート」できる環境を、2020年を目指しつくっていききたいと、関わる子どもたちや保護者、ボランティアの方々と共にリノベーション作業を続けています。



＜具体的な使途＞

- * 親子がいつでも来れる、シェルターとしても活用できる場所の改装費用を必要としています。
- * 古い建物であり現場の状況によって変わってくるため、詳細内訳は目安となります。
- * 通常、リフォームを外注すると、何倍もの費用がかかりますが、子どもたちや関係者、今回ご協力くださるみなさんと一緒に、リノベーションしていきたいと考えています。

私たちは、2013年以降、虐待死や心中といった子どもが巻き込まれる「悲劇を繰り返したくない」と走りながら考え続けて参りましたが、悲劇は繰り返されるばかり。おなかをすかせたり、寒い、怖い不安な思いをしたり、学校や地域で「くさい、貧乏なやつと遊ばん」など言われ、泣きながら居場所に来る子たちもいます。そして、親も孤育てに苦しんでいます。

親を加害者に、子どもを被害者にしないためにも、親子丸ごとサポートし「**子どもは社会で、多様な人の中で育てる**」ことが必要だと考えています。私たちの活動は**すべて制度外**、資金は心ある方々よりご寄付として託され、**自主事業**として続けています。**活動は8割以上が心ある方々からのご寄付**で成り立っており、みなさまに少しでも還元したいと認定NPOも取得し、さらに活動を深化させるための資金を集めたいと思います。

寄付による支援のお願い

CPAOの活動は、皆様のお心寄せに支えられています。子どもたちをサポートするためのご寄付をお願いします。

(個人情報は、「CPAOつうしん」の郵送など、本法人の活動目的にのみ利用するものとし、その他の目的には利用しません)

〔銀行振り込みの場合〕

三菱UFJ銀行 生野支店 普通預金

□ 座番号：0135871

□ 座名：エヌピーオーハウジンシーパオ

振込手数料は大変恐縮ですがご負担頂けますようお願いいたします。

〔クレジットカードの場合〕

CPAOではクレジットカード決済による寄付を受け付けております。

携帯・スマートフォンの場合はQRコードへ
PCからは下記URLへ↓



<http://cpao0524.org/wp/archives/445>

お手数ですが、ご寄付金額・お名前・ご住所・メールアドレスを「kanri@cpao0524.org」まで、お送り下さい。

子ども食堂のレシピ【カボチャの簡単レンジ煮】

子ども食堂で人気だった料理のレシピをお伝えするコーナーです！

毎週火曜日の 16 時から、えほん屋(生野区田島 1-1-9)には毎回おいしいごはんが食卓に並びます。

支部のある和歌山県の橋本にある CPAO 畑からたくさんのカボチャが採れました。

毎週木曜日に畑に行き、様々な野菜を収穫しています。

その中でも今回のカボチャはホクホク甘く、子どもたちに好評で、何度もおかわりをしていました。

栄養たっぷりで作るのも簡単！おいしく作れるのでうれしい一品です。

材料(3~4 人分)

カボチャ→4 分の 1 個(350g)、水→2 分の 1 カップ、みりん→大さじ 1

砂糖→大さじ 2 分の 1、醤油→大さじ 3 分の 2、ほんだし→小さじ 3 分の 1

作り方

- ①カボチャの種をとり、一口サイズに切り分けます。
- ②耐熱皿にカボチャを入れラップをして 8 分レンジで温めます。(硬さには好みがあるので調整ください)
- ③材料の水からほんだしまでを順番に鍋に入れ沸くまで温めます。
- ④レンジで温めたカボチャを沸いたつゆの中に入れ崩れないようにやさしくまぜます。
- ⑤粗熱が取れるまで待てば完成です。

編集後記

真夏の暑さに負けない子どもたちの声が響く。家で、学校で、近所で、「静かに！」と言われる日常から解放されたように。子どもが“子どもらしく”居られる。そんな場所が、この夏も CPAO にあふれていた。彼らの思いっきりの笑顔と声に、ふと、つられて笑みがこぼれる。きっと、私だけではないだろう。

子どもだけではない。おとなであっても、のびのび自分らしさを忘れずに生きている人との出会いは、自分の人生を見直すきっかけにもなる。「自分らしく生きたい」誰もが願うことではないか。だからこそ子どもらしさがあふれる CPAO での子どもたちとの日々は、何かを考えさせられ続ける、連続なのかもしれない。

子どもは自分らしさをあふれさせ、今を生きている。しかし、そんな子どもが、子どもらしくいられない。その窮状は、本当はずっと見えているはずなのに、見て見ぬふり、気づかないふり、あるいは本当に気づきもしない“おとな”によってつくられているように思う。子どもらしさを守るにはどうすればいいのか。

既存のものでは解決しない現状を、別次元のなにかで変えていきたい。それが CPAO の思いだ。子どもらしくいられない子ども時代を過ごした子どもは、どうやって自分らしさを取り戻していくのか。今を生きる子どもを守りながら、その問いかけに体当たりでぶつかっている。答えはまだ見えないが、希望はある。

CPAO つうしんでは、皆様のご意見・ご感想をおまちしています！ kaiin@cpao0524.org

